

## Omri Mor Trio

[プロフィール]

**Omri Moe オムリ・モール : p**

1983年にイスラエル生まれ。7歳でキーボードをはじめ、11歳から聴き弾きを中心としたレッスンを開始。ベンヤミン・オレンからクラシックを、アーニー・ローレンスからジャズを学ぶ。モロッコ生まれのシンガーでマルチインストゥルメンタルのニノ・ビトンの活動に参加、アラビアアンダルシアとアルジェリアのチャビスタイルの影響を受ける。またアヴィシャイ・コーエン(b)のツアーメンバーとして幅広くツアーする傍ら、イスラエルの主要なアラビアアンダルシアのオーケストラのソリストとして、またクラシック交響楽団のクラシックピアニストとしても活躍。一方、ジューイッシュ・ジャズの急先鋒であるダニエル・ザミールとのデュオ・ユニットでもツアーし、マルチな活躍ぶりをみせる。過去数年間の彼の音楽コラボレーションは、アルジェリア生まれのピアニスト、モーリス・エル・メディオニ、モロッコのグナワの巨匠ハミド・エル・カスリ、アブデルケビル・マーチャン、そして近年はマフムード・ギニアとの共演、イスラエルのロックアーティストともコラボレーションしている。デビューアルバム「It's about time!」のソウルフルな作風は、多様な音楽の影響を感じさせるとともに、超絶的なピアノ技術を示している

**Avri Borochoy アヴリ・ボロコフ : b**

1981年テルアビブ生まれ。アヴリ・ボロコフが驚くほど多才なベース奏者であることは、昨今のジャズ&ワールドミュージック業界において誰もが認めるところ。もともとはクラシック音楽を学び、イスラエルフィルのベース奏者エリ・マゲンに師事。また同時にインド伝統音楽やアフロ・ブラジリアンの民族音楽も吸収。ジャズはレジー・ヴォルクマン、ジュニア・マンズ、ペーター・バーンシュタイン、そしてアーロン・ゴールドベルグに手ほどきを受けた。2008年ニューヨークのニュースクール大学ジャズ科を卒業。

その後、数々の世界的ミュージシャンと共演している。日本人ではジャズ・ヴァイオリンの大倉めぐみ、ギタリストの井上智などと共演。また同じイスラエル人のアーティストでは、ECMLレーベルのアナット・フォートや、ユダヤ色の強いフリージャズ系のダニエル・ザミール、近年イスラエルで大変注目されているワールド系ジャズのイエメン・ブルースにも楽曲を提供。自身もエスノ・ジャズバンドEnsemble Yammaの音楽監督として欧米に定期的にツアーしている。

このほど、リズムセクションのベース奏者として、イスラエルフィルとの活動が決まった。

**Karim Ziad カリム・ジアド : ds**

1966年にアルジェで生まれ。ジャズと伝統音楽の境界を超越する音楽性が魅力のドラマー、歌手、作曲家、編曲家。10~20代の頃はSweet JazzやKhinjar（初のオリエンタル・ハードロックバンド）で活動。1989年にフォントネ・スー・ボワ音楽院、エマニュエル・ブルソー音楽学校、ガイ・ルフェーヴルの学校などで学ぶためパリに転居。マグレブ系のミュージック・シーン（Cheb Mami、オルケストル・ナショナル・ドゥ・バルベス、Khaledなど）の人気ドラマーとなるが、ほどなくアルゼンチンの著名な作曲家サフィ・ブテラとのもとで変拍子に目覚めSexun、

Ultramarine、Bojan Z、Joe Zawinulらとの共演し新境地を開く。また元ウェザーリポートのメンバーだったジョー・サヴィナルが開始したプロジェクト「サヴィナル・シンジケート」のメンバーとして、ドラムスだけでなくリズムセクションマスターとして活躍。Vince Mendoza、Metropole Orchestra、WDR Symphony Orchestraとのワールドツアーするなど、ジャズの自由さと、自らがリスペクトする伝統的なポピュラー音楽を融合させる可能性を追求し続けている。また10年以上モロッコのグナワ・フェスティバル（エッサウィラ）をプロデュースしている。